

[成果情報名] ミラマット入りビワ袋を袋掛けした場合の果実腐敗発生に与える影響

[要約] 露地ビワの果実にミラマット入りクラフト袋を袋掛けした場合、クラフト袋で袋掛けした場合に比べて果実腐敗の発生が多くみられる。

[キーワード] 露地ビワ、ミラマット入りクラフト袋、クラフト袋、果実腐敗

[担当] 長崎県果樹試験場・病害虫科

[連絡先] 電話 0957-55-8740、電子メール fbyoty@afes.pref.nagasaki.jp

[区分] 九州沖縄農業・果樹、病害虫

[分類] 指導

[背景・ねらい]

果実品質向上のため果実にミラマット入りクラフト袋を袋掛けするところがあるが、袋内の温度や湿度がクラフト袋より高くなることから、果実腐敗の多発生が懸念される。そこで、ミラマット入りクラフト袋を袋掛けした場合の果実腐敗の発生に与える影響について調査する。

[成果の内容・特徴]

1．2000年～2002年の3年間の現地（長崎市）露地ビワ圃場で、同一圃場内においてミラマット入りクラフト袋を袋掛けした果実とクラフト袋を袋掛けした果実での腐敗の発生状況を調査し比較した結果、ミラマット入りクラフト袋を袋掛けした方が果実腐敗の発生が多い。

[成果の活用面・留意点]

- 1．露地ビワの果実腐敗防止対策として活用。
- 2．袋の種類と腐敗果の発生程度の関係は収穫期の降雨量によって変動があると考えられる。

[具体的データ]

表 1 ミラマット入りクラフト袋による袋掛けがピロ果实腐敗発生に及ぼす影響

年	果实袋の種類	調査 圃場数	調査 果数	腐敗果率		
				収穫時 (%)	収穫後 8 日間累積 (%)	合計 (%)
2000年	ミラマット入りクラフト袋	4	301	1.7	15.3	17.0
	クラフト袋		171	1.2	7.0	8.2
2001年	ミラマット入りクラフト袋	3	171	2.3	3.5	5.8
	クラフト袋		171	0.6	4.1	4.7
2002年	ミラマット入りクラフト袋	6	279	2.9	8.6	11.5
	クラフト袋		424	1.7	2.8	4.5

[その他]

研究課題名：果实腐敗の発生要因の解明と効率的防除法の確立

予算区分：県単

研究期間：2002年度（平11～15年）

研究担当者：小嶺正敬、早田栄一郎